

エコライフ・フェア2018の基本的な方針

1. エコライフ・フェアとは

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開される様々な行事の中の主たる行事の一つとして、平成2年以来、環境省、関係地方公共団体、関連法人、団体、企業、NGO等が連携し、環境保全全般にわたる普及啓発活動を実施してきました。近年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木・イベント広場を会場に開催しています。

今年のエコライフ・フェア2018は、環境月間において、以下のことに取り組むことを踏まえて開催します。

○「COOL CHOICE（賢い選択）」

2030年度26%削減に向け、家庭、業務、運輸など各部門で大幅な削減努力が必要です。「COOL CHOICE」（賢い選択）を旗印に、日々の暮らしの中での地球温暖化防止の取組の選択肢やメリットを分かりやすくデモンストレーションし、取組を幅広く呼びかけます。

○「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

東京オリンピック・パラリンピック競技大会で使用されるメダルをリサイクルによって小型家電から集めた金属で製作するプロジェクトです。都市鉱山リサイクルをレガシー（遺産）として、国民一丸となって大会の成功に向けてプロジェクトを進めます。

○「国立公園満喫プロジェクト」

訪日外国人の国立公園利用者を2020年までに現在の約2倍の1,000万人に増やすことを目標に取り組んでまいります。

○「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」

森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すことや、一人ひとりが森里川海の恵みを支える社会をつくることを目標にプロジェクトを推進します。

また、これらに加えて、以下のような観点に重点を置いて環境保全活動の普及・啓発に関する各種行事等を実施します。

○科学的な知見の身近なレベルでの理解

環境問題の科学的・社会的知識を、身近なレベルで理解いただき、より具体的かつ効果的な行動の促進と継続につなげていきます。

○環境政策・取組への理解と参加

環境に係る諸課題に対応し、各主体の活動を促進するよう取り組んでいる国内外の政策について、その必要性や効果を理解いただき、政策実施への理解と取組への参加を得ることを目指します。

2. エコライフ・フェア2018開催の基本コンセプト

子供や学生から大人、お年寄りまで、幅広い年齢層の方が、環境問題について楽しみながら学び、体験する場を提供することを通じ、環境問題への理解を深めていただくとともに、日々の暮らしの中で行動に移していただくことを目指します。また、普段から環境保全に取り組んでおられる企業・団体等に、そうした取組について公表いただく場としても重要です。

その際、以下の事項を踏まえることとします。

○特に「COOL CHOICE（賢い選択）」「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」「国立公園満喫プロジェクト」「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」等について、楽しみながら、「気づき」から「行動」へと促すことを目指します。

○国、地方公共団体、企業、NGO・NPO、報道機関、研究機関等の幅広いステークホルダーが連携・協力して取り組みます。

○実施・運営に当たっては、環境負荷の低減に取り組みます。

以上を踏まえ、今年以下をテーマとして設定し、実施します。

「気づき」から「行動」へ ～地球の未来のために～

3. 開催概要

- タイトル エコライフ・フェア2018
- 開催期日 平成30年6月2日(土)、3日(日)
- 会場 代々木公園 ケヤキ並木(NHKホール前) / イベント広場
- 主催 環境省
- 共催(予定) 渋谷区
- 協力(予定) エコ・ファースト推進協議会、NHK 放送センター、
関東鉄道株式会社、グリーン購入ネットワーク、
京成電鉄株式会社、京王電鉄バス株式会社、
京成電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、
埼玉県新都市交通株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、
新京成電鉄株式会社、西武鉄道株式会社、
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット、東急バス株式会社、
東京急行電鉄株式会社、東京都生活協同組合連合会、
東京モノレール株式会社、東京臨海高速鉄道株式会社、
東武鉄道株式会社、東葉高速鉄道株式会社、
日本生活協同組合連合会、日本チェーンストア協会、
東日本旅客鉄道株式会社、株式会社フジエクスプレス、
北総鉄道株式会社、株式会社ゆりかもめ、
横浜高速鉄道株式会社、流鉄株式会社 他
- 後援(予定) 復興庁、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、
観光庁、一般社団法人日本新聞社協会、
一般社団法人日本民間放送連盟、渋谷区教育委員会、東京都
- 予想来場者数 4万人
- 入場料 無料

4. 内容

(1) 会場の構成

企業、NGO・NPO等の出展と、主催者企画(出展及びステージ)から構成します。その際、フェアの基本コンセプトにあうような出展内容となるよう、各出展者に検討を依頼します。

(2) 構想している出展内容

i) 出展エリア

「COOL CHOICE（賢い選択）」「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」「国立公園満喫プロジェクト」「つなげよう・支えよう森里川海プロジェクト」等について、例えば、NGO・NPO については自らの活動を紹介することにより、企業については自ら行う環境保全活動や、自らが開発や販売している環境にやさしい製品の紹介をすることにより、行政については政策を解説することにより、環境に関する知識、対策や政策、一人ひとりにとっていただくことが望ましい取組等をわかりやすく示し、可能な場合には体験も含め、楽しみながら学べるような企画を重視します

ii) ステージ

楽しみながら幅広い方々に環境問題への理解と取組を促していくため、週末のお楽しみイベントともなるような、著名人のトークショーやコンサートなどを行います。内容としては、環境問題に関する知識や一人ひとりに取り組んでいただくことが望ましい取組等を織り交ぜて構成します。

iii) 飲食物の販売エリア

週末のお出かけ先のイベントとして楽しんでいただけるよう、飲食物の販売コーナーを設けます。洗浄車を準備し、リユース食器・リユースカップを来場者が洗浄・返却する仕組みとします。

5. その他

(1) 留意事項

エコライフ・フェアの目的や基本コンセプトの達成度合い等を把握し、より効果的な実施を図るため、来場者アンケート等を通じて、来場者数、来場者の属性、参加した感想等を調査・集計します。

(2) 環境配慮

エコライフ・フェアの実施・運営に当たっては、リユース食器の使用等、廃棄物の発生を最小限にとどめるとともに、発生した廃棄物は、可能な限りリサイクルします。そのほか、実施によるCO2排出量をオフセットするなど、環境配慮に取り組めます。